

市民と行政のつながりの場面や現状

2009. 10. 7 2班

○市民の声の伝え方 [現状]

自治会

自治会長が地域の請願や意見を伝える	自治会の提案事項として、地域か、市全体か
地域の声を自治会長が伝える	市政懇談会の開催

市長への手紙	市長への手紙、市HPか、たん申請の利用
たまに広報にご意見ご要望をお聞かせくださいと載っているのので役所に行き、その事案に対しての用紙に書き込み提出する	パブリックコメントを利用して伝える

市の制度

個別

直接担当課に意見する

ゴミ袋(赤)の極小も作ってほしい	大袋(赤)に1年分まとめて出しましたので、整理するのに1年かかる
------------------	----------------------------------

具体例

[課題・問題点]

市の制度

自治体

地域がまとまらないと伝わりにくい

制度の周知が不十分	市民が市の制度を知らない
意見を出す人が非常に少ない	

個別

何か聞きたいこと、お願いしたいことがあっても担当課が分からない

○まちづくりへの参加の場面

ボランティア・NPO

ボランティア活動参加	定期的に体の不自由な人の為の教室にボランティアに通って微力ながらも私のできることをさせて頂いております。
NPO等のボランティア活動	

4・9月にクリーンデーがあるが、一部の家庭が参加しない	町内会への参加
地域の環境整備	ごみステーションの管理

自治会活動等

まつり・イベント

祭り

地域の活動

地域差が大きい	市民の中にはおえらい方がいくつも役を引受けておられ、初めての人の声は通りにくいのではないか
各種団体の連携不足	地域活動の内容が住民の方に浸透していない
活動への理解や市民意識不足	

行事への参加

全ての人が参加できない	役員になり手が少ない
参加者不足	自治会の行事、若い方からもっと参加してほしい
各種行事の日程が重なる	勤務者(サラリーマン)は土日などしか休めないで、会議などが月～金の昼間にあるので、まず参加できない
それぞれの団体で似たような行事を行っている	

個別

活動資金の調達が困難。活動の低下

○市と連携・協力の事例

青少年健全育成市民会議(吉田地区)に小中学校PTA役員、民生委員が充て職で参加し、活躍	青少年健全育成市民会議吉田地区役員として参加している。市役所の職員と一緒に活動しているので行政に伝わるのはではないか	農業団体で市と連携で行事を行っている	町内で毎月、健康教室を開いて保健師、看護師さんがいらっしやって血圧やら健康相談にのってもらっています。
役員、委員として参加しています。役職がないとなかなか参加しにくい		行政とともに事業を運営	

行政との連携

講座・勉強会

出前講座

学習会や勉強会の参加

行政の関わり

役員が充て職でPTAを退任すると市民会議の役員も交替となる	青少年健全育成市民会議が吉田地区の活動が活発で他の地区ではあまり活動していない。全市でまとまらないか	まちづくり協議会それぞれ運営方式や役員の選任方法、組織が違い、各協議会で格差が出ている
行政主導となりがち		

個別

行政の行事には参加が少ない

市民参加と協働によるまちづくりに必要なこと
〔課題や問題の解決方法や仕組み〕

2009. 10. 7 2班

〔まとめ〕

①まちづくりへの市民の声の反映

○市民の声をまちづくりに反映させるため、さらに情報公開(広報、HP、市政情報コーナー等)や公聴制度(パブリックコメント、市長への手紙、総括的な窓口の設置等)の周知と充実を図っていく必要がある。また、それらの声がどう扱われたか、結果を公表することが大切である。

○まちづくりにおいて地域住民と行政の間をつないでいる自治会の役割は大きく、その役割をより明確にしなが、三者の意思の疎通が円滑にいくような仕組みを整えていく必要がある。

②まちづくりへの市民参画の推進

○まちづくり協議会などの市民活動には、行政の支援が必要であり、地区単位での活動をサポートする担当職員の配置や活動資金の助成などが求められる。また、市民活動をリードする役割を担う人材の育成が重要であり、誰もがリーダーになりやすい環境づくりにも努めていく必要がある。

○若い人をはじめ、様々な年代や職業の方々からまちづくりに積極的に参画してもらうためには、会議や行事の開催日時を参加しやすい設定にするとともに、年代に応じたイベント内容の検討等も必要である。さらに、職員自らも地域活動や各種行事への積極的な参加が求められる。

③市民と行政の協働によるまちづくりの推進

○協働によるまちづくりは大変重要であり、各種団体と市が共同で行っている事業の事例もあるが、さらに団体同士の協力、全市的なネットワークの構築を行いながら市と連携を強めていく必要がある。

○まちづくりは、全て行政主導で進めることなく、各種団体などのそれぞれの特色を活かし、市民とともに協働で行うことが大切である。

市の制度の充実

広報、ホームページなど、広報活動の充実	市長への手紙の設置場所を多くする	意見を出した結果の状況を公開
広報、ホームページの充実を	回覧板などを利用して、見たという印をつけてもらい、周知する	
市政情報コーナーなどを設置し情報提供の場の充実	広報が見づらい。情報が多し。地域版を作る	

自治会

自治会長以下役員で市長、部署に出向く	自治会長に伝えてみる	自治会の声が市に届く仕組み作り(市長との対話機会の充実など)
県道関係の要望は県議、市等にも通してお願いをする	何年越しの要望も有り今年出向く	

個別

相談窓口を設置

まちづくりへの参加の場面

自治会活動等の促進

活動資金不足解消はその内容を広報、新聞に載せ賛同して下さる方を募る	予算の中での懇親会、慰労会の予算をあてる程度認めてもらいたい	役員の成り手不足を解消するに当たり、役員になった方にポイントを与え、何らかのメリットを設ける
まち協をサポートする担当者(地区別)	各行事への市職員の参加の拡充	メリットをいただく

行事へ参加

若い人も参加、興味を持てる行事をたくさん試みてみる(コンテンツ、年齢対象別新聞)	まちの行事として土日だけでなく真日の時間帯も設けているような方が出やすいようにする。
会議などサラリーマンの休みの土日に開けば参加しやすい人も出るのではないだろうか	各行事に若い人が参加しやすいように曜日の設定を考える

市と連携・協力の事例

まちづくり協議会の予算をもう少し考える。各行事計画に対し予算付けする

各団体の行事は、事前に行政に報告する形にして重ならないようにする	各種団体の連携を図る(スポーツ、文化、生活、子供等関連の団体)
----------------------------------	---------------------------------

まち協13団体の代表者が集い、連携し、共通で取り組む課題や個別で取り組む課題など話し合い、連合会などと一緒にまちづくりを進める	青少年健全育成市民会議は生涯学習課を中心に他の組織や団体と連携を図り、全市的な取り組みとする
---	--